

ご存知でしたか？ 車いすには専用のクッションが必要です。

移動用に利用されている車いすの多くは、

座面に布などを張った構造のスリングシートが使用されています。

しかし、座ると座面が変形するスリングシートは体重が一部分に集中して安定感がなく、長時間座り続けると、姿勢が悪くなったりムレたりして、不快感を感じるようになります。

車いす専用クッションはこのような不具合を解消するため、

構造や素材などに配慮し特に設計されたものです。

車いすをより快適に利用するために、専用クッションの使用をおすすめします。

スリングシートの車いすに…

車いす専用ではないクッション、
座ぶとんを使った場合

湿度がこもってムレる
姿勢が悪くなりズレる
骨張った部分に体圧が集中する

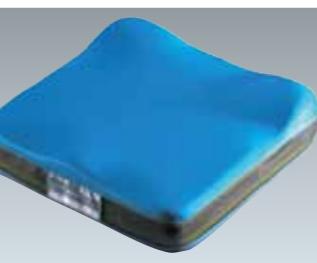
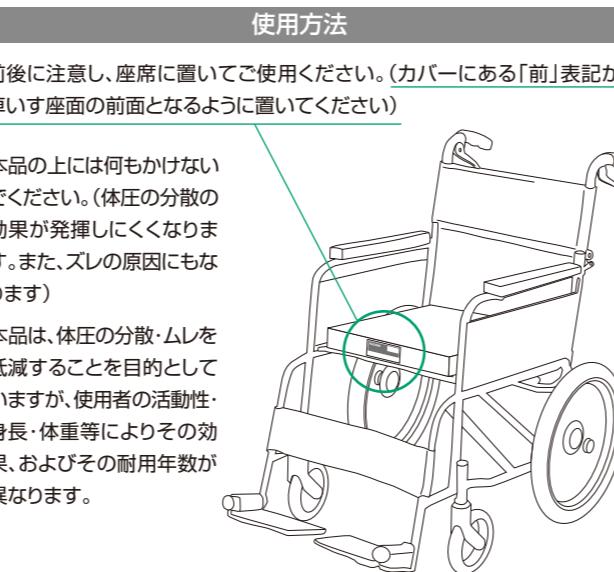
▼
痛み、疲れなどの不快感

**車いす専用クッション
《リフレア》を使用した場合**

適度な通気性でムレにくい
正しい姿勢を保ってズレを低減
体をしっかり支えて体圧を分散

従来の
車いすクッションの
大きな課題であった
「通気性」もクリア

快適な座り心地



リフレア® Refrain

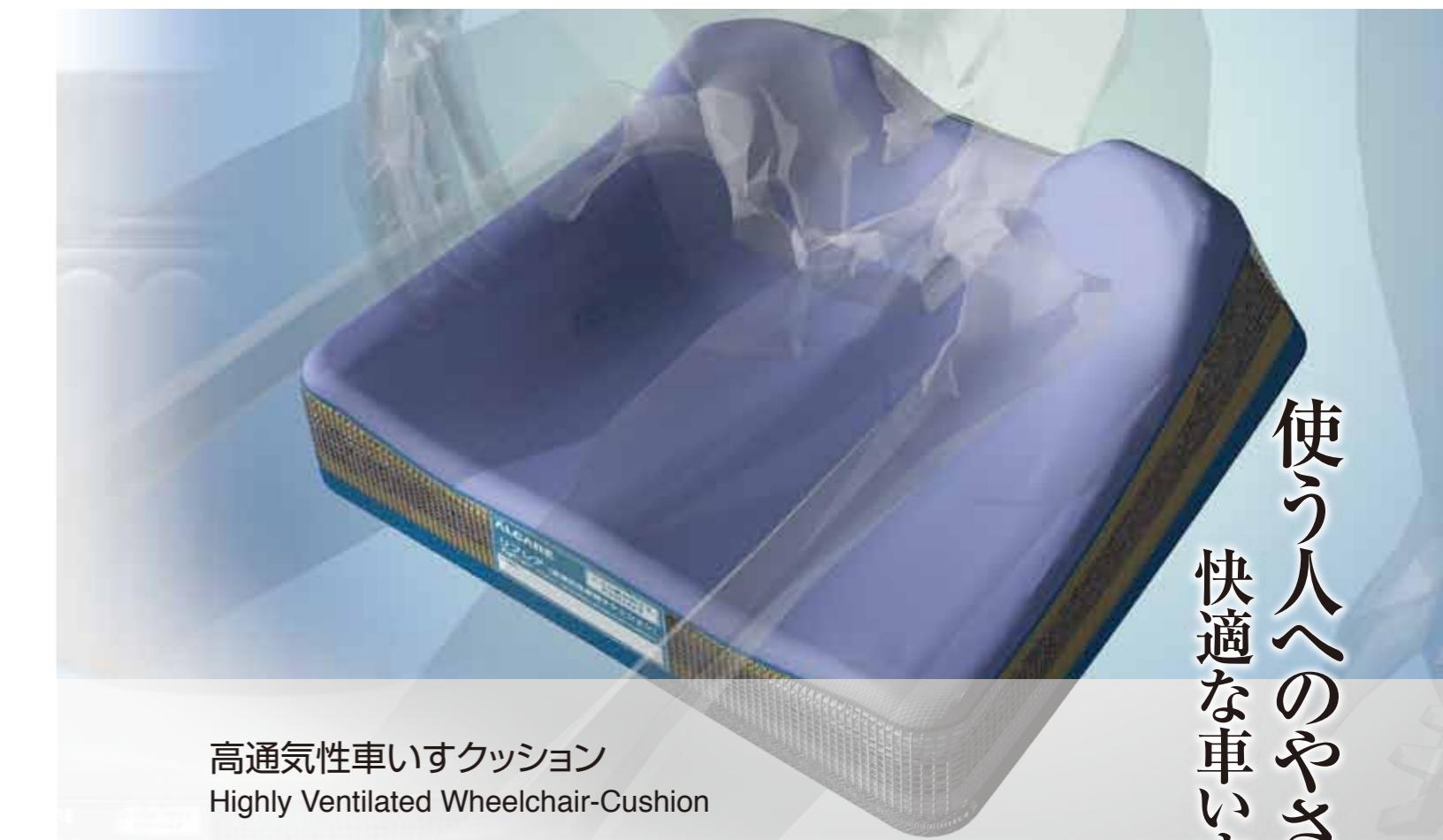
種類	商品コードNo.	規格	1函入数	メーカー希望小売価格 (税抜き)
スカイブルー 標準サイズ	17631	厚さ×縦×横 7.5cm(後側10cm)×39cm×39cm	0.5kg	¥14,000



リフレア®高通気カバー Refrain Cover-HV

種類	商品コードNo.	規格	1函入数	メーカー希望小売価格 (税抜き)
スカイブルー 標準サイズ用	17641	厚さ×縦×横 7.5cm(後側10cm)×39cm×39cm	1枚	¥3,400

リフレア® Refrair



高通気性車いすクッション
Highly Ventilated Wheelchair-Cushion



アルケア株式会社

東京都墨田区錦糸1-2-1 アルカセントラル19階 TEL:03-5611-7800(代表) FAX:03-5611-7825
www.alcare.co.jp

●本カタログの内容は2015年3月現在のものです。
●商品の仕様、デザインおよび価格は、改良や経済状況の変動などにより予告なく変更することがあります。
●本カタログに掲載の写真は、実際の色とは多少異なる場合がありますので、ご了承ください。

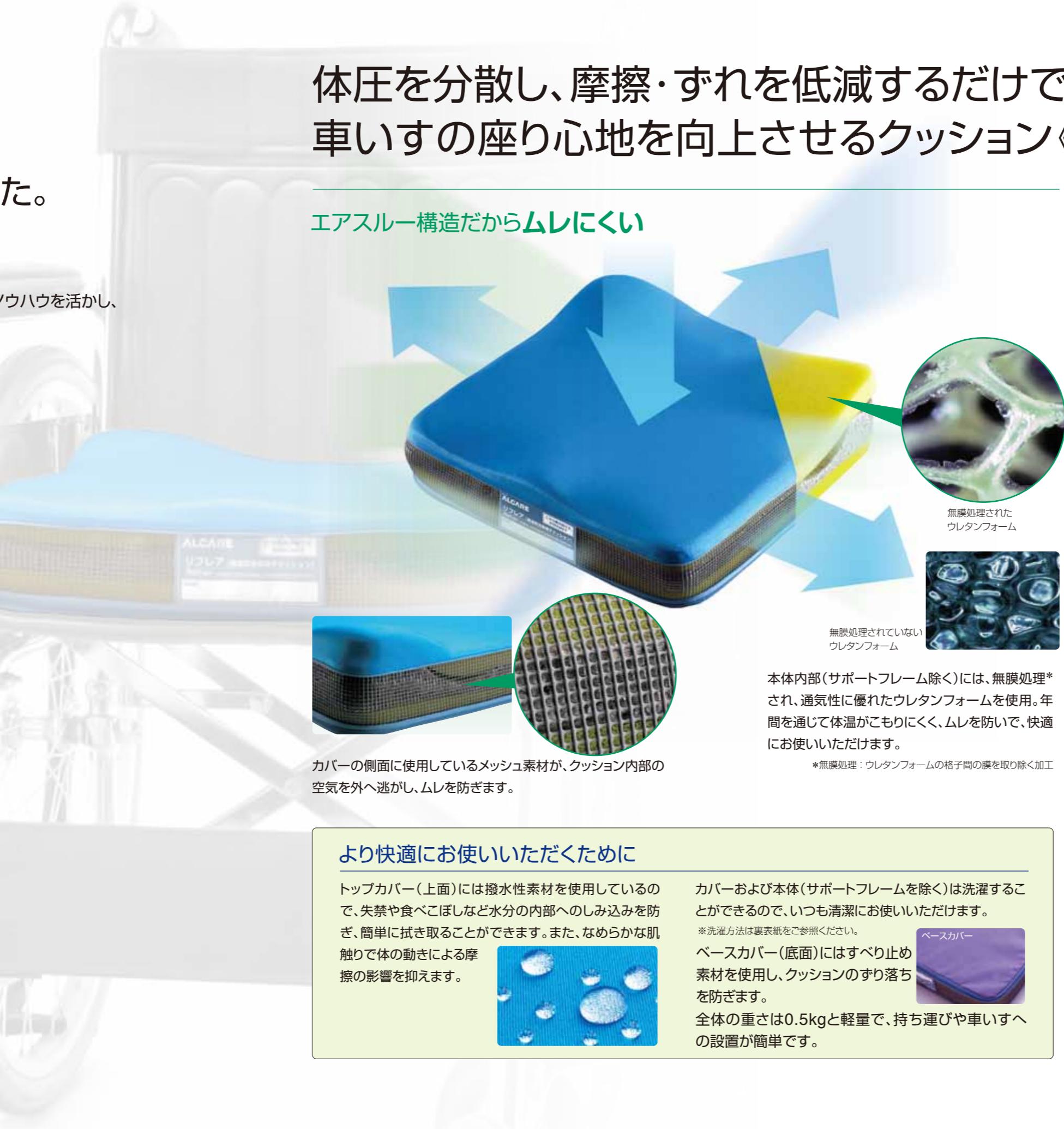
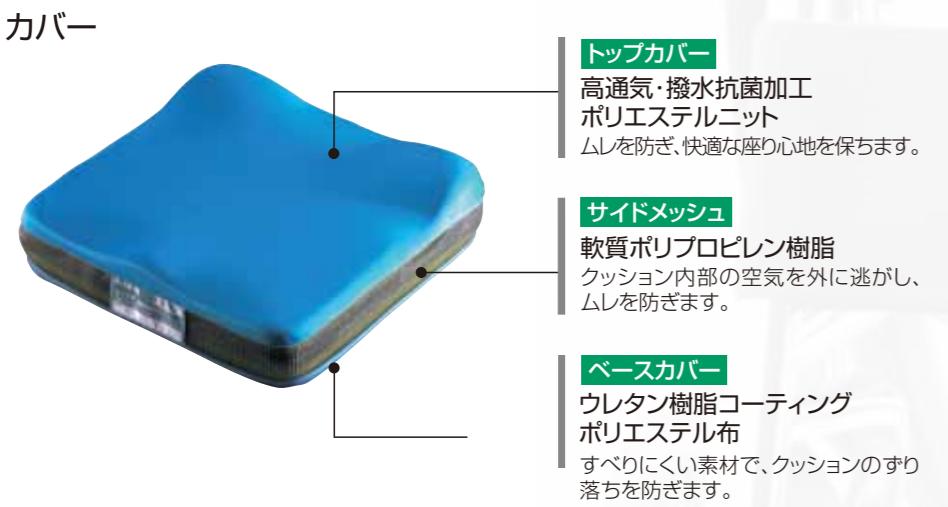
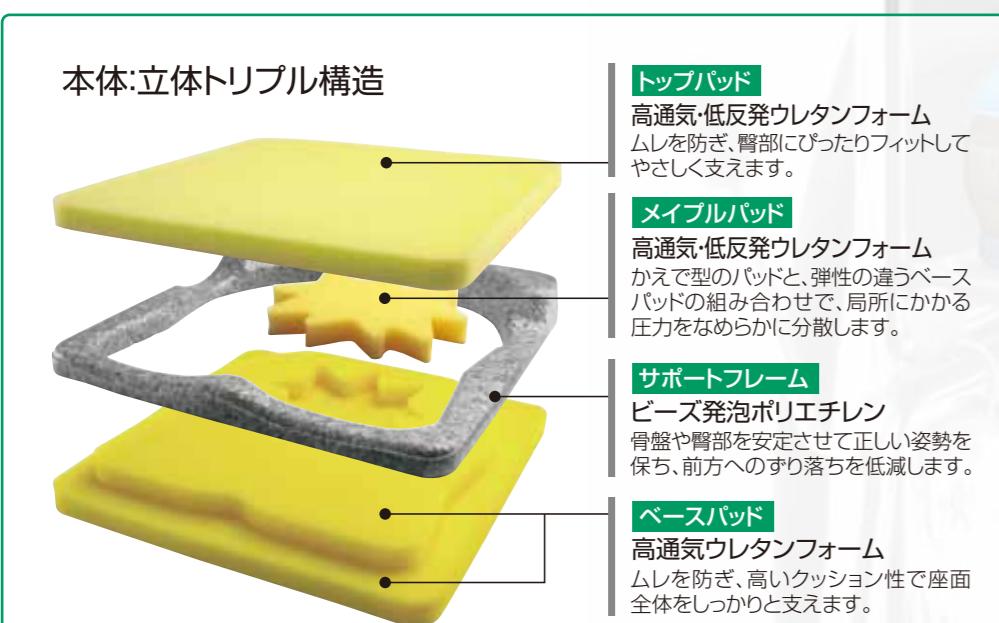
お問い合わせ : コールセンター
フリーダイヤル **0120-770-863** 土・日・祝日を除く
午前9:00～午後5:00



この印刷物は、EPFのシルバー基準に適合した
地域環境ややさしい印刷方法で作成されています
EPF:環境省認定の環境基準
<http://www.epf.or.jp>

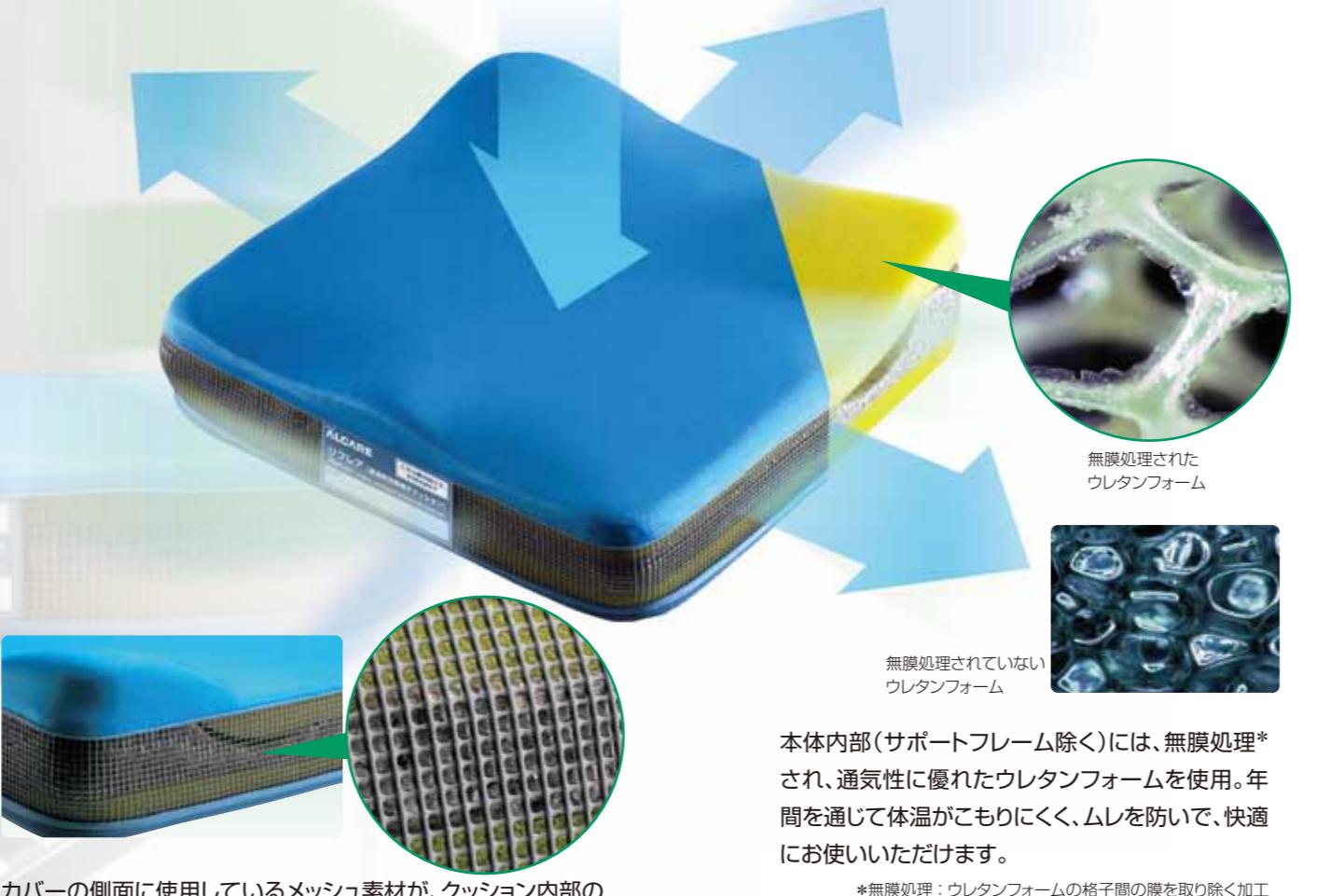
長時間座っても痛くない、疲れない。
車いすクッションの快適さを追求しました。

《リフレア》は、臀部を包み込むように支えて体圧の集中を抑えるとともに、
安定感や座り心地の快適さまで配慮した高通気性車いすクッション。
人間工学や生理学的データに基づいた構造設計と多くの医療機器開発で培ったノウハウを活かし、
使う方のQOLを最大限に高める車いすクッションを目指しました。



体圧を分散し、摩擦・ずれを低減するだけでなく、ムレも防いでより快適に。
車いすの座り心地を向上させるクッション《リフレア[®]》。

エアスルー構造だからムレにくい



より快適にお使いいただくために

トップカバー(上面)には撥水性素材を使用しているので、失禁や食べこぼしなど水分の内部へのしみ込みを防ぎ、簡単に拭き取ることができます。また、なめらかな肌触りで体の動きによる摩擦の影響を抑えます。



カバーおよび本体(サポートフレームを除く)は洗濯することができます。いつも清潔にお使いいただけます。

*洗濯方法は裏表紙をご参照ください。

ベースカバー(底面)にはすべり止め素材を使用し、クッションのすり落ちを防ぎます。

全体の重さは0.5kgと軽量で、持ち運びや車いすへの設置が簡単です。

バランスよく体を支えて効率的に体圧を分散

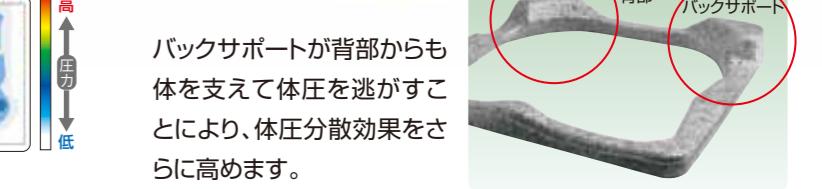
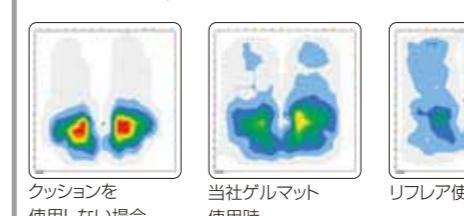
臀部の当たる部分は、低反発ウレタンフォームのトップパッドとメイプルパッドを重ね合わせることにより、坐骨・尾骨周辺(臀部の骨張っている部分)への、体圧の集中を防ぎます。



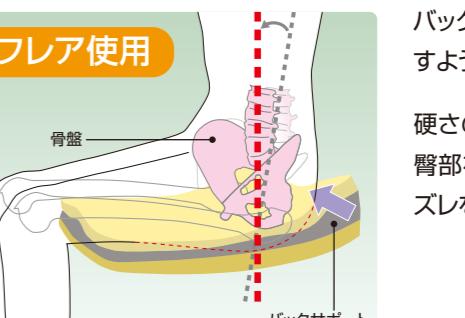
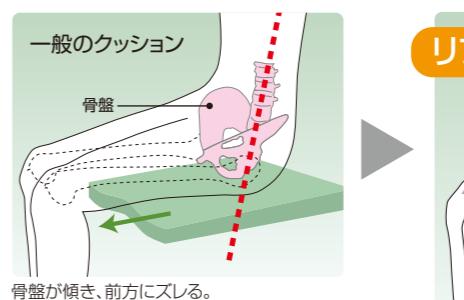
弾性の異なるウレタンフォームの組み合わせにより、効果的に体圧を分散します。

体圧分布測定装置(FSA)による体圧分布データ比較

クッションを使用しない場合は坐骨周辺に体圧が集中しているのに対し、リフレア使用時は体圧の集中が少なくなり、広く体圧を分散していることがわかります。



正しい姿勢を保ちズレを低減



バックサポートが傾きがちな骨盤を起こすように支え、正しい姿勢を保ちます。

硬さの異なる素材からなる凹形状により、臀部を適度に沈み込ませ、前後左右へのズレを低減します。

バックサポートを支え、正しい姿勢を保つ。